

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	1 交通事故を減少させる	【項】	都市基盤の整備
【基本事務事業】	1401 人と車を分離する	【基本計画区分】	502【担当課】 5032000 道づくり課

【目的】	交通事故死者数について 実績値 15人 (H13)を 目標値 10人にする。	【背景】	平成12年11月に国が定める(通称)交通バリアフリー法の施行をうけて松戸市として平成13年度に庁内関係各課による「交通バリアフリー基本構想策定準備委員会」が設置され、その後平成15年度に「松戸市交通バリアフリー基本構想策定委員会」が設置された。平成17年3月末には、各事業者との協議や市民の意見を反映した松戸市交通バリアフリー基本構想が策定される予定。各特定事業者がこの基本構想に基づいて事業計画を作成しバリアフリー事業の実施を行なう。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				140101	都市計画道路拡幅整備事業	現地調査などで市内の道路の現況を正確に把握し、既存道路の維持補修を重点とした整備計画を策定し、計画的な整備を実施していく。
				140102	道路財産管理事業	
				140103	道路機能管理事業	
				140104	緊急地域雇用創出特別基金事業	

【今後の課題】
現地調査などで市内の道路の現況を正確に把握し、既存道路の維持補修を重点とした整備計画を策定し、計画的な整備を実施していく。

【重要性】
本市は、高度成長期の東京圏の人口集中の受け皿として昭和30年代後半より、人口急増し、主に都市基盤の整備に力を注いだ結果、道路実延長が近隣市と比較して最も長い。(松戸市 1118.9km 市川市 764.9km船橋市 969.5km 柏市 972.0km)その反面、老朽化した道路や維持整備が必要な道路が多いことや歩道のない生活道路が数多くあることが問題となっている。ユニバーサルデザインのまちづくり

【現状分析】
計画的に、歩道整備の進捗に努める。

【指標】	上段:予算目標 下段:実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
歩道整備延長	(km)	157.3	157.8	158.4	159	159.6
	()	159.4	160.4	160.7	161.1	161.6
		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0

【政策】	14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【施策】	1 交通事故を減少させる
【基本事務事業】	1401 人と車を分離する	担当課:	5032000
【事務事業】	140101 都市計画道路拡幅整備事業	道づくり課	

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
歩行者の安全確保(歩きやすさ)と、交通の円滑化(走りやすさ)を図るために、現道を拡幅整備する。	道路整備率(%)	整備済延長/整備予定延長	80	5	3	3	2	計画額	215,148	336,098	203,377	196,465	68,284
			80	5	3	6	2	(一般財源)	39,648	77,918	52,961	71,965	44,284
			0	0	0	0	0	予算額	215,148	336,098	191,163	154,825	149,822
			0	0	0	0	0	(一般財源)	39,648	77,918	39,863	35,854	45,811
	()		0	0	0	0	0	決算額	113,535	336,381	253,538	93,740	167,847
			0	0	0	0	0	職員数	7.4	6.9	6.8	7	7
								単位) 事業費:千円 職員数:人					

【対象】	道路利用者	【業務】	3・4・35号線街路整備業務 3・5・30号線街路整備業務 3・4・16号線街路事業負担金 3・4・17号線街路事業負担金 3・4・20号線街路整備業務
------	-------	------	--

【定量分析】:課題・現状分析
3・4・35号(紙敷)においてはH18年度事業完了。3・5・30号街路事業においてはH19年度事業完了。3・4・16号(一般部・延伸部)に関しては、千葉県が事業主体となり整備をしている。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性
3・4・16号(一般部・延伸部)に関しては、千葉県が事業主体となっている。外環側道部(国道29号)の暫定供用開始(H20.3月)されたこともあり、完了を急いでいる。第3次実施計画にも計上している。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1401 人と車を分離する
 【事務事業】 140102 道路財産管理事業

【施策】 1 交通事故を減少させる
 担当課: 5031000
 建設総務課

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
市道の区域を明確にするため、官民境界の確認を行い、道路台帳図面及び調書を調製する。	市道境界確定率(%)	道路境界確定延長/道路認定実延長	68.83	70.98	73.22	75.53	77.93	計画額	134,951	129,451	118,852	124,660	117,976
			65.94	67.01	68.67	61.58	62.4	(一般財源)	134,828	129,328	117,729	123,537	116,197
	(%)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【対象】 市道に利害を有する人								【業務】	道路管理業務				
									道路管理システム業務				

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

道路財産を明確にし、適正な管理を実施するとともに、平成17年度に窓口に端末機を導入することにより、窓口での事務対応の効率化・簡素化を図ることができた。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

今後、開発行為による道路財産の増加及び境界査定による道路境界の確定が随時おこなわれることから、引き続き適正な財産管理をおこなうため、道路台帳整備をおこなう。

【計画事業】

【計画事業名】 道路財産管理事業

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 都市基盤の整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	道路法第28条及び同法施行規則に基づく図面及び調書を調整し、いつでも、市民の求めに応じて資料を提供する。	道路法第28条及び同法施行規則に基づく図面及び調書を調整し、いつでも、市民の求めに応じて資料を提供する。	道路法第28条及び同法施行規則に基づく図面及び調書を調整し、いつでも、市民の求めに応じて資料を提供する。	道路法第28条及び同法施行規則に基づく図面及び調書を調整し、いつでも、市民の求めに応じて資料を提供する。	道路法第28条及び同法施行規則に基づく図面及び調書を調整し、いつでも、市民の求めに応じて資料を提供する。
実績	○道路管理システムの一環として窓口業務のIT化を検討。平成15年度各市へアンケート調査実施。	○窓口業務のIT化を検討の平成16年度、先進市への視察実施。(葛飾区、墨田区、江東区、さいたま市、上尾市、千葉市、市原市、相模原市、我孫子市、沼南町、流山市、平成17年度に予算要求する。	平成17年度7月から道路管理システムの一環として、窓口に端末機器2台を設置、利用される方自身が道路境界確定図・現況平面図等をタッチパネルによる検索し、印刷できる。	○道路管理システムの一環として、業務用に端末機1台を増設。○道路台帳の整備。	○道路台帳の整備。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	14	誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【施策】	1	交通事故を減少させる								
【基本事務事業】	1401	人と車を分離する	担当課:	5031000									
【事務事業】	140103	道路機能管理事業	建設総務課										
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
人の歩行や車の走行に支障がないように、道路の使用等について適切な指導を行う。	管理瑕疵による事故件数(件)	道路事故に伴う損害賠償金件数	0	0	0	0	0	計画額	1,173	1,173	1,253	1,230	2,634
			12	15	14	17	19	(一般財源)	1,173	1,173	1,253	1,230	2,634
			0	0	0	0	0	予算額	1,173	1,230	1,253	2,734	2,662
			0	0	0	0	0	(一般財源)	1,173	1,230	1,253	2,734	2,662
			0	0	0	0	0	決算額	916	981	1,951	2,566	2,633
							職員数	6	6	6	6	2	
							単位) 事業費:千円	職員数:人					
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	道路使用管理業務 私道整備業務 道路占用業務				
道路利用者			0	0	0	0	0	【指標値】上段:予算目標 下段:実績					
【定量分析】:課題・現状分析						【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
市道の状態を把握する必要があるため、道路パトロールを実施。						道路パトロールの充実を図る。							

【政策】	14	誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【施策】	1	交通事故を減少させる								
【基本事務事業】	1401	人と車を分離する	担当課:	5033000									
【事務事業】	140104	緊急地域雇用創出特別基金事業	道路維持課										
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
基金条例に基づき雇用の促進策として監視指導業務を委託し雇用促進及び不法占用者への指導を行う。	雇用率(%)	実雇用者数/計画雇用者数	100	100	0	0	0	計画額	11,925	11,925	0	0	0
			100	100	0	0	0	(一般財源)	0	2,741	0	0	0
			0	0	0	0	0	予算額	11,925	11,925	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	2,741	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	11,550,000	11,487,000	0	0	0
							職員数	0.25	0.25	0	0	0	
							単位) 事業費:千円	職員数:人					
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	主要駅広場内不法占用物件等監視指				
市民全般			0	0	0	0	0	【指標値】上段:予算目標 下段:実績					
【定量分析】:課題・現状分析						【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
千葉県の実態に基づき実施した時限的な事業で、平成16年度で終了しています。						緊急地域雇用創出特別基金事業終了後は、職員により松戸駅周辺を中心に適宜不法占用にかかるパトロールを実施しております。							

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	1 交通事故を減少させる	【項】	安全で安心な地域環境づくり
【基本事務事業】	1402 市民の交通モラルを形成する	【基本計画区分】	404【担当課】 3923000 生活安全課

【目的】	交通事故の発生を防止する。	【背景】	交通事故の増加。都市化の進展の中で、子供たちの事故発生を防止する必要がある。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				140201	交通安全啓発活動事業	交通事故防止のためには、未就学児童や小学校低学年を対象に交通安全教育指導は必要であり今後も推進していく。
				140202	ユーカリ交通公園管理運営事業	

【今後の課題】
交通安全に関する指導、育成の推進を図る。

【重要性】
交通事故を防止するため、小学生を中心に早期のうちに交通安全に関する教育と実地指導を行うことは必要

【現状分析】	受講クラス数にあまり変動がみられなかったが生徒数の減少により数が伸びなかった。	【指標】	上段:予算目標 下段:実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
		幼児・児童数		10000	10000	10000	10000	10000
		(人)		9981	9345	10115	10377	9019
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0

【政策】	14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【施策】	1 交通事故を減少させる
【基本事務事業】	1402 市民の交通モラルを形成する	担当課:	3923000
【事務事業】	140201 交通安全啓発活動事業	生活安全課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 401 戦略区分 -
【目的】	交通事故の防止、抑制を図る	【指標】	[H15] [H16] [H17] [H18] [H19]
	市民交通傷害保険加入者数(人)	【指標概要】	市民交通傷害保険の加入者数
	交通安全キャンペーン活動参加数(件)		交通安全キャンペーン活動に参加した実件数
	()		
【対象】	市民(通勤者を含む)警察、各種交通安全団体		
		【指標値】	上段:予算目標 下段:実績
		【業務】	市民交通傷害保険関係業務 松戸市安全都市協議会補助金 交通安全協会補助金 交通安全母の会補助金 交通安全指導啓発業務 交通安全計画関係業務

【定量分析】:課題・現状分析
交通安全啓発の観点から関連団体と協力し、交通安全活動に重点をおき事業展開する。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性
市民への交通安全啓発には、関連団体との連携が不可欠であり、今後の協力体制を堅持していく。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1402 市民の交通モラルを形成する
 【事務事業】 140202 ユーカリ交通公園管理運営事業

【施策】 1 交通事故を減少させる
 担当課: 3923000
 生活安全課

会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 404 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
子供の交通事故をなくす為、小学生・幼稚園児を対象に交通安全教育指導をおこなう。	受講者数(人)	受講者数	10000	10000	10000	10000	10000	計画額	28,898	27,381	28,171	29,475	36,078
			9981	9345	10115	10377	9019	(一般財源)	28,866	27,325	28,115	29,419	36,022
								予算額	28,898	27,381	27,025	28,635	35,712
								(一般財源)	28,866	27,325	26,969	28,429	35,656
								決算額	28,898	27,721	26,853	28,292	35,390
	(0)		0	0	0	0	0	職員数	2.8	2.8	2.8	3.16	0.88
								単位) 事業費：千円 職員数：人					
	(0)		0	0	0	0	0	【業務】	貸出・指導委託業務				
			0	0	0	0	0		施設維持管理業務				
									施設整備業務				

【指標値】上段：予算目標 下段：実績

【定量分析】：課題・現状分析

受講クラスには大きな変動は見られないがクラス生徒数の減少のため数が伸びなかった。施設、備品の老朽化による修繕も多く来園者の利用に影響している。

【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性

交通事故防止のためには、未就学児童や小学校低学年を対象に交通安全教育指導は必要であり推進して行く。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1403 道路の障害を取り除く
 【事務事業】 140302 緊急地域雇用創出特別基金事業

【施策】 2 移動制約をなくす
 担当課: 5033000
 道路維持課

会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
基金条例に基づき雇用の促進策として清掃業務を委託し雇用促進と駅前広場の環境美化を行う。	雇用率(%)	実雇用者数/計画雇用者数	100	100	0	0	0	計画額	9,970	18,329	0	0	0
			100	100	0	0	0	(一般財源)	0	4,192	0	0	0
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	9,970	18,329	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	4,192	0	0	0
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	9,970	17,618	0	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	0.25	0.25	0	0	0
【対象】 市民全般								単位) 事業費: 千円 職員数: 人					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

千葉県要綱に基づき時限的に平成16年度まで実施された。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

緊急地域雇用創出特別基金事業の終了後も市単独費により現在も実施している。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1403 道路の障害を取り除く
 【事務事業】 140303 道路改良事業

【施策】 2 移動制約をなくす
 担当課: 5033000
 道路維持課

会計区分 一般会計 計画区分 計画事業 502 戦略区分 改善

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
良好な歩行空間の確保と道路交通の円滑化を図るため、道路及び付帯施設の改良を行う。	改良率(%)	(舗装率+側溝設置率)/2	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	【事業費】	894,955	816,732	754,624	925,248	756,951
			248	129.5	163.6	165.4	163.3	【計画額】	845,495	716,732	635,824	838,698	655,301
	()		0	0	0	0	0	【(一般財源)】	894,955	816,732	732,626	648,900	767,855
			0	0	0	0	0	【(一般財源)】	845,495	716,732	626,824	574,848	755,355
	()		0	0	0	0	0	【決算額】	961,128	772,510	770,392	808,180	885,455
							【職員数】	10.75	9.05	8.7	8.7	8.1	
【対象】 道路利用者								【業務】	道路改良業務 市道5地区176号(安忠坂)整備業務 松戸駅西口道路整備業務				

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

改良率については、目標の約2倍を達成することができました。松戸駅西口道路整備業務(ふれあい通り)については、当初地元との調整に時間がかかり竣工時期が遅れましたが、第2次実施計画内に完了いたしました。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

駅周辺や歩道のバリアフリー化の推進については高齢化社会を向かえる上でも、その整備が求められており、今後も人にやさしい快適でスムーズな移動ができるような道路を目指します。

【計画事業】

【計画事業名】 ふれあい通り(松戸駅西口)改良事業、「安忠坂」整備事業

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 都市基盤の整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	舗装整備 40,000㎡側溝整備 4,000m和名ヶ谷クリーンセンター周辺道路修繕(環境計画課)	舗装整備 40,000㎡側溝整備 4,000m和名ヶ谷クリーンセンター周辺道路修繕(環境計画課)	舗装整備 40,000㎡側溝整備 4,000m松戸駅西口道路整備 歩車道舗装 1,900㎡ 側溝整備 402m和名ヶ谷クリーンセンター周辺道路修繕(環境計画課)	舗装整備 40,000㎡側溝整備 4,000m松戸駅西口道路整備 歩車道舗装 500㎡和名ヶ谷クリーンセンター周辺道路修繕(環境計画課)	舗装整備 40,000㎡側溝整備 4,000m松戸駅西口道路整備 歩車道舗装 1,000㎡和名ヶ谷クリーンセンター周辺道路修繕(環境計画課)
実績	舗装整備 85,310㎡側溝整備 11,394m和名ヶ谷クリーンセンター周辺道路修繕(環境計画課) 200㎡	舗装整備 40,980㎡側溝整備 6,311m和名ヶ谷クリーンセンター周辺道路修繕(環境計画課) 170㎡	舗装整備 52,747㎡側溝整備 7,817m松戸駅西口道路整備 実績なし和名ヶ谷クリーンセンター周辺道路修繕(環境計画課) 実績なし。	舗装整備 55,245㎡側溝整備 7,709m松戸駅西口道路整備 歩車道舗装 1,416㎡和名ヶ谷クリーンセンター周辺道路修繕(環境計画課) 56㎡	舗装整備 56,253㎡側溝整備 7,444m松戸駅西口道路整備 歩車道舗装 7,444㎡和名ヶ谷クリーンセンター周辺道路修繕(環境計画課) 1,014㎡

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1403 道路の障害を取り除く
 【事務事業】 140304 県施工工事地元負担金

【施策】 2 移動制約をなくす
 担当課: 5033000
 道路維持課

会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
地方財政法第27条の規定に基づき、県で施行する工事等建設事業に要する費用の一部を負担する。	負担率(%)	負担割合	20	20	20	20	20	計画額	5,000	2,000	5,000	5,000	5,000
			20	20	20	20	20	(一般財源)	5,000	2,000	5,000	5,000	5,000
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	5,000	2,000	2,000	2,000	3,800
			0	0	0	0	0	(一般財源)	5,000	2,000	2,000	2,000	3,800
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	609	2,242	1,700	5,758	10,734
			0	0	0	0	0	職員数	0.25	0.25	0.25	0.25	0.15
【対象】 道路利用者								【業務】					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

地方財政法第27条の規定に基づき、県で施行する工事等建設事業に要する費用の一部を負担している。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

県施工地元負担金については、近県では千葉県のみが市町村に負担を課している状況であるので、今後も県に対し見直しの要請を図りたい。

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1403 道路の障害を取り除く
 【事務事業】 140306 橋りょう架換工事地元負担金

【施策】 2 移動制約をなくす
 担当課: 5033000
 道路維持課

会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
河川改修に伴う道路橋の架換工事の負担をする。	負担率(%)	負担金額/総工事費	14	0	0	0	0	計画額	3,782	0	0	0	31,000
			14	0	0	0	0	(一般財源)	1,891	0	0	0	31,000
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	3,782	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	1,891	0	0	0	0
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	26,524	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	0.25	0	0	0	0
【対象】 橋りょう利用者								【業務】					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

平成15年度に地元負担金にかかる事業があったが、16年度以降この事業はない。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

橋梁については、全国的に老朽化が指摘されております。今後は、県が国分川に係る橋梁について予定をしています。(20年度以降)

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1403 道路の障害を取り除く
 【事務事業】 140307 橋りょう維持管理事業

【施策】 2 移動制約をなくす
 担当課: 5033000
 道路維持課

会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
道路橋等の維持管理を行う。	維持率(%)	当該年度(予算額/担当人員)/15年度	100	100	100	100	100	計画額	76,500	78,040	64,000	34,000	65,000
			100	100	100	100	100	(一般財源)	76,500	78,040	64,000	34,000	38,400
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	76,500	78,040	43,000	75,500	91,900
			0	0	0	0	0	(一般財源)	76,500	78,040	43,000	37,000	40,800
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	76,125	71,083	33,555	72,726	87,571
			0	0	0	0	0	職員数	2	2	2	2	1.2
【対象】 橋りょう利用者			0	0	0	0	0	【業務】 補修業務					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

限られた予算の中での修繕では、数多くの道路橋の安全を図るには難しくなりつつある。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

全国的に橋梁の老朽化が課題となっており、本市においても例外ではなく、その長期的な修繕計画の必要性が問われています。

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1403 道路の障害を取り除く
 【事務事業】 140308 道路橋りょう災害復旧事業

【施策】 2 移動制約をなくす
 担当課: 5033000
 道路維持課

会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
災害発生時の復旧工事を行う。	復旧件数(件)		0	0	0	0	0	計画額	1	1	1	1	1
			0	0	0	0	0	(一般財源)	1	1	1	1	1
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	1	1	1	1	1
			0	0	0	0	0	(一般財源)	1	1	1	1	1
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	0
【対象】 災害を受けた市民			0	0	0	0	0	【業務】					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

災害復旧事業を実施していない。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

将来、災害がおき道路施設等が損害を被った場合は、この科目が必要となるため、存目として計上しています。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1403 道路の障害を取り除く
 【事務事業】 140309 狭あい道路拡幅整備事業

【施策】 2 移動制約をなくす
 担当課: 5024000
 建築指導課

会計区分 一般会計 計画区分 計画事業 401 戦略区分 ー

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
狭あい道路(幅員4m未満、1.8m以上)を将来的に4m幅の道路にするため、建築物を建築するときに敷地を後退した部分を道の形態に整備する。	狭あい道路拡幅整備済率(%)	狭あい道路の拡幅整備対象箇所数に対する整備済箇所数(拡幅整備済箇所数/拡幅整備対象箇所数)	20	20	25	25	30	計画額	162	171	162	162	333
			15	24	17	50	24	(一般財源)	162	171	162	162	333
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	162	171	333	333	239
			0	0	0	0	0	(一般財源)	162	171	333	333	239
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	155	171	318	321	238
							職員数	1.69	1.69	1.69	3.05	2.35	
【対象】 土地所有者	(0)		0	0	0	0	0	【業務】	拡幅指導業務 建築基準法道路確定業務				
			0	0	0	0	0	単位) 事業費: 千円 職員数: 人					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

全体的な調査は中断し、確認申請に伴った個々の道路について調査を行っている。松戸市狭あい道路後退用地等整備要綱により狭あい道路の拡幅整備、角地における隅切り用地の確保、整備について指導している。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

今後も、狭あい道路(幅員1.8m以上4m未満)を将来的に4m幅の幅員を確保するため、建築物を建築するときに敷地の後退について指導していく。

【計画事業】

【計画事業名】 狭あい道路拡幅整備事業

【節項コード】 401 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 良好な生活空間の実現

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	狭あい道路に接して建築計画がある者に対して道路拡幅の確実な履行を指導する。	狭あい道路に接して建築計画がある者に対して道路拡幅の確実な履行を指導する。	狭あい道路に接して建築計画がある者に対して道路拡幅の確実な履行を指導する。	狭あい道路に接して建築計画がある者に対して道路拡幅の確実な履行を指導する。	狭あい道路に接して建築計画がある者に対して道路拡幅の確実な履行を指導する。
実績	整備件数27件(対象件数171)	整備件数19件(対象件数77)	整備件数7件(対象件数41)	整備件数24件(対象件数46)	整備件数12件(対象件数21)

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1403 道路の障害を取り除く
 【事務事業】 140310 放置自動車対策事業

【施策】 2 移動制約をなくす
 担当課: 3923000
 生活安全課

会計区分 一般会計 計画区分 計画事業 404 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
道路交通の安全と円滑化及び良好な生活環境の確保を図り、もって都市機能の維持及び増進に寄与する	放置自動車の保管所移送台数(台)	放置自動車の保管所移送台数	93	88	83	78	73	計画額	3,535	3,313	1,657	1,696	1,696	
			102	65	57	40	16	(一般財源)	3,067	3,005	1,189	1,388	1,388	
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	予算額	3,535	3,313	1,696	1,696	1,675		
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(一般財源)	3,067	3,005	1,388	1,388	1,367		
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	決算額	3,255	3,038	1,008	2,023	563		
【対象】 市民														
								職員数	2.7	2.3	2.3	2.37	2.32	
								単位) 事業費：千円 職員数：人						
								【業務】	放置自動車等審査会委員報酬 (5人) 放置自動車対策業務					
								【指標値】上段：予算目標 下段：実績						

【定量分析】:課題・現状分析

平成19年度放置移動台数16台と路上警告放置車両は7台となっている。台数は減ってきているが今後も所有者に対し移動の要請を行ってゆく。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性

今後も円滑な道路交通と市民生活の安全を確保するため、放置自動車の防止と移送保管を行う。

【計画事業】

【計画事業名】 放置自動車対策事業

【節項コード】 404 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	放置自動車等審査会 8回開催	放置自動車等審査会 7回開催	放置自動車等審査会 8回開催	放置自動車等審査会 8回開催	放置自動車等審査会 8回開催
実績	放置自動車等審査会 8回開催	放置自動車等審査会 7回開催	放置自動車等審査会 6回開催	放置自動車等審査会 4回開催	放置自動車等審査会 4回開催

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【施策】 2 移動制約をなくす
 【基本事務事業】 1404 移動機能を向上させる

【節】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項】 都市基盤の整備
 【基本計画区分】 502【担当課】 5021100 都市計画課・交通計画担

【目的】
 公共施設のバリアフリー度について実績値
 建物 55.1%(H13)道路 37.9% 公園
 62.5%を 目標値58.1% 40% 65.5%にする。

【背景】
 平成12年11月に国が定める(通称)交通バリアフリー法の施行をうけて松戸市として平成13年度に庁内関係各課による「交通バリアフリー基本構想策定準備委員会」が設置され、その後平成15年度に「松戸市交通バリアフリー基本構想策定委員会」が設置された。平成17年3月末には、各事業者との協議や市民の意見を反映した松戸市交通バリアフリー基本構想が策定される予定。各特定事業者がこの基本構想に基づいて事業計画を作成しバリアフリー事業の実施を行なう。

【今後の課題】
 バリアフリーの推進に伴う建設資金の増加が見込まれるため、ハード整備のみに頼らずに交通弱者にやさしい意識と行動をもった市民の育成を支援する事業(「心のバリアフリー化事業」)が必要である。

【重要性】
 本市は、高度成長期の東京圏への人口集中の受け皿として、近隣市と比較し鉄道網の発達を早期になされ昭和30年代後半の人口急増を迎え、都市基盤整備に重点をおいたまちづくりを実施してきた。(松戸市 5社6路線23駅 市川市 7路線16駅 船橋市 9路線30駅 柏市 3路線7駅)現在、少子高齢化社会に対応した人にやさしいまちづくりが求められており、バリアフリー整備の充実と実用化が望まれている。

【現状分析】
 平成17年度までの調査においては、調査の設問に対する詳細なマニュアルがなかったため、記入者の主観による回答がなされていた。平成18年度より詳細なマニュアルを作成して照会したが、結果的に前年度より率が下がってしまった。

コード 配下事務事業名

- 140401 鉄道駅エレベーター等設置事業
- 140402 人にやさしい安全な建築物推進事業
- 140403 交通バリアフリー推進事業

【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持

平成18年度に作成したマニュアルに基づき各課より回答をもらい、さらに前年度の照会でバリアフリー化していると回答のあった項目については、照会に含めない。従って前年より率が下がる事は今後ない様になっている。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
公共建築物のバリアフリー度			56.1	56.6	57.1	57.6	58.1
(%)			57.8	57.8	58.3	56.7	57.6
()			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	14	誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【施策】	2	移動制約をなくす									
【基本事務事業】	1404	移動機能を向上させる	担当課:	5021100										
【事務事業】	140401	鉄道駅エレベーター等設置事業	都市計画課・交通計画担当室	会計区分	一般会計									
			計画区分	計画事業	502 戦略区分 成長									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
高齢者や障害者も含め、市民誰でもが利用しやすい駅施設を目指す。	駅のバリアフリー達成率 (%)	バリアフリー達成駅数/全駅理由:事業目的の達成を測る上で最も簡明な指標であるため状況:交通バリアフリー法の整備目標期限である平成22年までの整備完了を目指し 鉄道事業者と協議している	31.6	36.8	42.1	47.3	52.6	計画額	22,000	26,850	52,500	80,000	80,000	
			31.6	36.8	42.1	47.4	57.9	(一般財源)	14,670	17,900	35,000	53,400	53,334	
	ワンルートを整備達成率 (%)	ワンルート達成駅数/全駅理由:移動円滑化基準及び国庫補助の採択の方針が指標として示されているため状況:移動円滑化促進の基本方針に示された目標である平成22年までの整備完了を目指し 鉄道事業者と補助に係る協議をしている	21.1	26.3	36.8	42.1	47.4	予算額	22,000	26,850	43,320	80,000	160,000	
			21.1	26.3	36.8	42.1	47.4	(一般財源)	14,670	17,900	28,880	53,334	133,334	
								決算額	22,000	26,850	43,320	0	104,000	
								職員数	0.9	0.9	0.9	0.9	1	
								単位) 事業費:千円 職員数:人						
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	鉄道事業者と協議する補助金を交付し、エレベーター等の設					
鉄道利用者			0	0	0	0	0							
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績											
			【定量分析】: 課題・現状分析											
			【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性											
			[実績] 15年度 EV2基・済【新京成・元山】・16年度 EV2基・済【新京成・常盤平】・17年度 EV2基・済【新京成・上本郷】・18年度 EV2基・済【19年度補助】【JR・馬橋】・19年度 ①EV2基・済【JR・北松戸】、②EV2基・未【北総・東松戸】 [未実施の理由]・19年度北総鉄道東松戸駅は事業進					・ワンルートを整備達成は19駅中9駅で達成された・移動円滑化促進の基本方針に示された目標である平成22年までに、19駅中14駅の整備を目指します。						

【計画事業】

【計画事業名】 鉄道駅エレベーター等設置事業

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 都市基盤の整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	鉄道駅エレベーター等設置協議・補助	鉄道駅エレベーター等設置協議・補助	鉄道駅エレベーター等設置協議・補助	鉄道駅エレベーター等設置協議・補助	鉄道駅エレベーター等設置協議・補助
実績	補助対象: 新京成元山駅補助内容: ラチ内上下ホーム エレベーター計2基総事業費: 77,175千円 市補助金額: 22,000千円	補助対象: 新京成常盤平駅補助内容: ラチ内、北口 エレベーター計2基総事業費: 89,400千円 市補助金額: 26,850千円	補助対象: 新京成上本郷駅補助内容: ラチ内、北口 エレベーター計2基総事業費: 144,390千円 市補助金額: 43,320千円	補助対象: JR馬橋駅補助内容: ラチ内、東口 エレベーター計2基総事業費: 407,574千円 市補助金額: 80,000千円 (H19年度補助)	補助対象: JR北松戸駅補助内容: ラチ内、東口 エレベーター計2基 多機能トイレ総事業費: 122,631千円 市補助金額: 24,000千円

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1404 移動機能を向上させる
 【事務事業】 140402 人にやさしい安全な建築物推進事業

【施策】 2 移動制約をなくす
 担当課: 5024000
 建築指導課

会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 401 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
特定建築物等を建築する際に、高齢者や障害のある人等も利用しやすくするためバリアフリーの技術基準に適合するよう指導する。	バリアフリー化率(%)	千葉県福祉のまちづくり条例及びハートビル法に基づく特定建築物のバリアフリー化対象項目に対し、実際に適合した項目数(バリアフリー化適合項目数/バリアフリー化対象項目数)	70	70	75	80	85	計画額	0	0	100	100	100
			81	82	80	76	74	(一般財源)	0	0	100	100	100
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
							職員数	0.4	0.4	0.4	0.7	0.35	
【対象】 特定建築物の建築主等			0	0	0	0	0	【業務】	福祉のまちづくり推進業務 ハートビル推進業務				

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

特定建築物等を建築する際に、高齢者や障害のある人等も利用しやすくするためバリアフリーの技術基準に適合するよう指導しており、概ね対象建築物については、届出がなされている。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

特定建築物等を建築する際に、建築基準法上バリアフリー法にも適合させる義務がある。また、福祉のまちづくり条例の届出はなされているが、その内容は改善指導を伴うものが多いため、今後も指導を強化し条例の主旨に沿う建築物の建築を誘導する。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1404 移動機能を向上させる
 【事務事業】 140403 交通バリアフリー推進事業

【施策】 2 移動制約をなくす
 担当課: 5021100
 都市計画課・交通計画担当室 会計区分 一般会計 計画区分 計画事業 502 戦略区分 ー

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
市民が公共交通機関等を利用した主要施設までの移動の円滑化を図る。	基本構想策定進捗率(%)	策定済/全策定(h15、16の2カ年で策定)	50	50	0	0	0	計画額	4,000	3,500	7,000	10,000	53,000
			50	50	0	0	0	(一般財源)	2,000	2,000	7,000	10,000	40,500
								予算額	4,000	3,500	5,000	1,500	48,720
高齢者及び身体障害者等を含むすべての市民	特定事業計画作成(%)	h17作成	0	0	100	0	0	(一般財源)	2,000	2,000	3,000	1,500	36,220
			0	0	8	0	0	決算額	1,260	3,465	4,883	1,500	58,805
								職員数	1.9	1.9	1.9	1.9	1.85
	歩道整備進捗率(%)	整備延長/全整備延長(h19、20で整備)	0	0	0	0	50	【業務】	基本構想策定業務 整備業務 特定事業計画作成業務				
			0	0	0	0	35						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

基本構想: H17策定歩道整備: 新松戸・幸谷地区交通バリアフリー道路整備工事実施 560m【H19】啓発: 冊子作成計 39,600部 【H18・19】、松戸まつり、他

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

歩道整備: ①松戸駅東口地区交通バリアフリー道路整備工事【H20～22】②松戸駅西口地区交通バリアフリー道路整備基本設計業務委託【H20】③松戸駅西口地区交通バリアフリー道路整備設計業務委託【H21】④松戸駅西口地区交通バリアフリー道路整備工事【H22～23】啓発: 冊子作成

【計画事業】

【計画事業名】 交通バリアフリー化推進事業

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 都市基盤の整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	基本構想策定委託	基本構想策定委託	新松戸駅周辺歩道整備実施設計業務委託松戸駅東口周辺基本設計業務委託	新松戸駅周辺及び松戸駅東口周辺地元調整	新松戸駅周辺歩道整備工事松戸駅東口周辺実施設計業務委託
実績	基本構想策定委託	基本構想策定委託	新松戸駅周辺歩道整備実施設計業務委託松戸駅東口周辺基本設計業務委託	新松戸駅周辺地元調整啓発冊子作成29,600部まつど祭 他	新松戸幸谷地区交通バリアフリー道路整備工事・松戸駅東口地区交通バリアフリー道路整備設計業務委託及び地元調整啓発冊子作成10,000部まつど祭 他

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	3 車の流れを良くする	【項】	都市基盤の整備
【基本事務事業】	1405 幹線道路を連続させる	【基本計画区分】	502【担当課】 5021000 都市計画課

【目的】	道路密度について 実績値 2.39km/km ² (H13)を目標値 2.45km/km ² にする。	【背景】	交通網の高度化により広域交流圏がますます拡大の傾向となり、交通問題の解消のため道路と車両と人をネットワークさせた最先端の情報通信技術の利用が促進されている。(ITS:スマートウェイ推進)また、環境問題の深刻化より今後は、環境負荷の少ない交通体系の形成が望まれ、人工排熱量の約3割が自動車からという現状から鉄道や船舶による輸送に切り替えるモーダルシフトなどの交通需要マネジメントの取り組みが迫られている。一方、高齢者の自動車利用が増加し公共交通による流動が減少傾向にある。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
【重要性】	交通手段として車を利用する市民は増えており、幹線道路のネットワークを充実させ、車の流れをよくすることが求められている。車の流れをよくすることで幹線道路の交通渋滞の解消と生活道路への車両進入を防止し生活道路の安全性が向上する。	【今後の課題】	経済環境等の問題により道路整備のこれ以上の新設が非常に難しい状況にあるので、国・県及び市の適正な役割分担のなかで、不連続箇所を計画的に減らしていく。	140501	国・県道に関する整備要請事業	財政上非常に難しいが、国・県及び市の適正な役割分担のなかで、不連続箇所を計画的に減らしていく。
【現状分析】	整備率100%により、対象者の利用に満足する情報が提供できた。	【現状分析】		140502	都市計画道路計画策定事業	
				140503	広域幹線道路整備促進事業	
				140504	都市計画道路新設整備事業	
				140505	街路関係事業	
				140506	基準測量整備事業	
				【指標】	上段:予算目標 下段:実績	[H15] [H16] [H17] [H18] [H19]
					ネットワーク率	71.1 71.1 71.1 71.1 71.1
					(%)	71.1 71.1 71.1 71.1 71.1
					()	0 0 0 0 0
					()	0 0 0 0 0

【政策】	14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【施策】	3 車の流れを良くする
【基本事務事業】	1405 幹線道路を連続させる	担当課:	5031000
【事務事業】	140501 国・県道に関する整備要請事業	建設総務課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -
【目的】	国及び千葉県が所管する幹線道路について、道路整備を早期に実現できるように国・県に整備要請をする	【指標】	整備率100%
【対象】	市民及び利用者すべて	【指標概要】	整備延長÷整備要請延長(%)・市川柏線(千駄堀)道路整備(930m)・松戸停車場線(160m)・江戸川左岸自転車道(2500m)・松戸鎌ヶ谷線の歩道拡幅(3200m)・松戸野田線(660m)・国道464(3300m)〇整備要請延長(10750m)
		[H15] [H16] [H17] [H18] [H19]	[H15] [H16] [H17] [H18] [H19]
		1.116 1.116 1.116 1.116 1.116	【事業費】
		0 1.116 0 27.94 0	計画額
		0 0 0 0 0	(一般財源)
		0 0 0 0 0	予算額
		0 0 0 0 0	(一般財源)
		0 0 0 0 0	決算額
		0 0 0 0 0	職員数
		0 0 0 0 0	3 3 3 3 1.6
		0 0 0 0 0	【業務】
		0 0 0 0 0	【指標値】上段:予算目標 下段:実績
			【定量分析】:課題・現状分析
			国及び千葉県が所管する幹線道路の整備を国・県に要請し、道路整備をおこなう。
			【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性
			国・県に整備要請をおこなう。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	14	誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【施策】	3	車の流れを良くする									
【基本事務事業】	1405	幹線道路を連続させる	担当課:	5021000										
【事務事業】	140502	都市計画道路計画策定事業	都市計画課		会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
将来の道路ネットワーク、道路構造を明らかにすることにより、道路沿道にふさわしい土地利用を誘導するとともに、道路予定地内の土地利用を制限し、事業実施に備える。	幹線道路線密度(km)	市街化区域内計画決定延長/市街化区域面積	2.62	2.66	2.68	2.7	2.73	計画額	0	15,000	0	0	0	
			2.18	2.18	2.18	2.18	2.18	(一般財源)	0	12,000	0	0	0	
								予算額	0	15,000	0	0	0	
	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	0	12,000	0	0	0	
			0	0	0	0	0	決算額	0	9,839	0	0	0	
								職員数	1.3	1.9	1.85	2.6	2.1	
								単位) 事業費:千円	職員数:人					
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	計画策定業務 調査検討業務					
市民			0	0	0	0	0							
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績											
	【定量分析】: 課題・現状分析							【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
	市民との合意形成。計画決定と事業実施との時間的なズレが大きすぎる。							合意形成のための機会の充実。出来る限り実現性を担保する。						

【政策】	14	誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【施策】	3	車の流れを良くする									
【基本事務事業】	1405	幹線道路を連続させる	担当課:	5021000										
【事務事業】	140503	広域幹線道路整備促進事業	都市計画課		会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
高規格幹線道路網(高速自動車国道等)による全国各地への移動時間の短縮を図るため、市内及び近隣市を通るこれらの道路(北千葉、外環等)の早期整備の要請を行う。	市内及び市外近傍のIC数(箇所)	市内及び市外近傍のIC数	1	1	1	1	2	計画額	180	180	180	180	180	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	180	180	180	180	180	
								予算額	180	180	180	180	180	
	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	180	180	180	180	180	
			0	0	0	0	0	決算額	180	180	180	180	180	
								職員数	1.1	0.9	0.9	1.1	0.9	
								単位) 事業費:千円	職員数:人					
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	各種期成同盟負担金 外かん道路整備関連業務					
市民			0	0	0	0	0							
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績											
	【定量分析】: 課題・現状分析							【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
	経済環境等の問題により、道路整備の進捗が難しい。							関係自治体と協同しねばり強く要請していく。						

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1405 幹線道路を連続させる
 【事務事業】 140504 都市計画道路新設整備事業

【施策】 3 車の流れを良くする
 担当課: 5032000
 道づくり課

【目的】	【指標】	【指標概要】	会計区分					計画区分					
			[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	一般会計	計画事業	502	戦略区分	改善	
市内既存道路の交通混雑を解消するとともに、市内の各生活圏及び隣接地域への交通連絡性(移動機能)を高めるため道路を新設整備する。	道路整備率(%)	整備済延長/整備予定延長	42	4	6	10	4	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
	(0)		42	4	6	4	3	計画額	256,438	242,904	290,573	238,530	298,555
	(0)							(一般財源)	115,938	120,504	158,023	108,675	139,505
	(0)							予算額	256,438	242,904	290,999	262,272	302,275
	(0)							(一般財源)	115,938	120,504	158,449	132,472	157,950
【対象】 道路利用者			0	0	0	0	0	決算額	146,831	302,605	229,258	228,509	0
			0	0	0	0	0	職員数	5.7	5.4	5.8	4.6	4.6

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

3・3・6号(和名ヶ谷)に関しては、H19年度事業完了。3・3・6号(八ヶ崎)に関しては、用地取得を進捗。3・3・7号(幸谷・二ツ木)に関しては、H20年度よりまちづくり交付金事業として事業着手させる。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

3・3・6号(八ヶ崎)に関しては、用地取得の進捗を継続。3・3・7号(幸谷・二ツ木)に関しては、H20年度よりまちづくり交付金事業として事業着手。まちづくり交付金事業「松戸北部地区」・・・事業承認 H20～H24年度第3次実施計画に計上している。

【計画事業】

【計画事業名】 都市計画道路整備事業(新設整備事業)

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 都市基盤の整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	道路整備率 42%路線別進捗率 3・3・6号(八ヶ崎) 7%3・3・6号 (和名ヶ谷) 71%3・3・7号(幸谷・ 二ツ木) 58%	道路整備率 46%路線別進捗率 3・3・6号(八ヶ崎) 11%3・3・6号 (和名ヶ谷) 77%3・3・7号(幸谷・ 二ツ木) 58%	道路整備率 52%路線別進捗率 3・3・6号(八ヶ崎) 14%3・3・6号 (和名ヶ谷) 85%3・3・7号(幸谷・ 二ツ木) 58%	道路整備率 62%路線別進捗率 3・3・6号(八ヶ崎) 19%3・3・6号 (和名ヶ谷) 98%3・3・7号(幸谷・ 二ツ木) 58%	道路整備率 66%路線別進捗率 3・3・6号(八ヶ崎) 25%3・3・6号 (和名ヶ谷) 100%3・3・7号(幸谷・ 二ツ木) 58%
実績	道路整備率 42%路線別進捗率 3・3・6号(八ヶ崎) 6%3・3・6号 (和名ヶ谷) 74%3・3・7号(幸谷・ 二ツ木) 58%	道路整備率 46%路線別進捗率 3・3・6号(八ヶ崎) 11%3・3・6号 (和名ヶ谷) 77%3・3・7号(幸谷・ 二ツ木) 58%	道路整備率 52%路線別進捗率 3・3・6号(八ヶ崎) 14%3・3・6号 (和名ヶ谷) 85%3・3・7号(幸谷・ 二ツ木) 58%	道路整備率 56%路線別進捗率 3・3・6号(八ヶ崎) 16%3・3・6号 (和名ヶ谷) 91%3・3・7号(幸谷・ 二ツ木) 65%	道路整備率 59%路線別進捗率 3・3・6号(八ヶ崎) 18%3・3・6号 (和名ヶ谷) 100%3・3・7号(幸 谷・二ツ木) 65%

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1405 幹線道路を連続させる
 【事務事業】 140505 街路関係事業

【施策】 3 車の流れを良くする
 担当課: 5032000
 道づくり課

			会計区分 一般会計					計画区分 一般事業 502 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]			
街路事業に伴う庶務的経費のため、評価対象外です。	街路事業に伴う庶務的経費のため、評価対象外のため設置していません。 (0)		0	0	0	0	0	計画額	39,222	4,850	2,483	2,257	4,009			
			0	0	0	0	0	(一般財源)	39,222	4,850	2,483	2,257	4,009			
			0	0	0	0	0	予算額	39,222	4,850	3,922	4,089	4,184			
			0	0	0	0	0	(一般財源)	39,222	4,850	3,922	4,089	4,184			
			0	0	0	0	0	決算額	14,731	6,281	3,205	4,017	4,756			
			0	0	0	0	0	職員数	0.8	1	1	1	1			
					単位) 事業費: 千円 職員数: 人											
					【業務】	各路線整備の財源支援(補助金等)の 予算等の管理をする 用地確保部の管理をする										
					【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績										

【対象】
街路事業に伴う庶務的経費のため、評価対象外です。

【定量分析】: 課題・現状分析

街路事業に伴う庶務的経費のため、評価対象外です。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

街路事業に伴う庶務的経費のため、評価対象外です。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1405 幹線道路を連続させる
 【事務事業】 140506 基準測量整備事業

【施策】 3 車の流れを良くする
 担当課: 5021000
 都市計画課

		会計区分 一般会計					計画区分 計画事業					502	戦略区分	—
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
都市計画道路の位置を正確に現地に表すために、測量法改正に合わせ、測量の基準となる座標点を再整備する。また、この座標点を用いる事ですべての土地の位置を数値データとして管理する事が可能となり、土地の境界に関するトラブルを回避することができる。	松戸市公共基準点整備率 (%)	使用可能松戸市公共基準点数/松戸市公共基準点全数	100	100	100	100	100	計画額	30,000	25,000	30,000	0	2,000	
			100	100	100	0	0	(一般財源)	30,000	25,000	30,000	0	2,000	
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	30,000	25,000	27,000	0	0	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	30,000	25,000	27,000	0	0	
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	10,248	17,903	20,265	0	0	
			0	0	0	0	0	職員数	1.6	1.85	1.65	1.1	1.1	
	都市計画道路沿道建築予定者及びその他の利用者			0	0	0	0	0	【業務】	基準点管理業務 世界測地系移行業務				
				0	0	0	0	0						
				【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績										
	【定量分析】: 課題・現状分析			【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 滅失点が発生しないよう、隣接工事施工者への周知徹底等、適正な指導管理を図る。										

【計画事業】

【計画事業名】 松戸市基準測量整備事業

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項名】 都市基盤の整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	基準点測量再整備	基準点測量再整備	基準点測量再整備都市計画道路座標値再整備		基準点補修
実績	基準点測量再整備	基準点測量再整備	基準点測量再整備都市計画道路座標値再整備		

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【施策】 3 車の流れを良くする
 【基本事務事業】 1406 渋滞箇所をなくす

【節】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項】 都市基盤の整備
 【基本計画区分】 502【担当課】 5032000 道づくり課

【目的】
 道路密度(市街化区域内の1km²あたりの計画街路延長)について 実績値 2.39km/km²(H13)を目標値 2.45km/km²(H19)にする。

【背景】
 財政難による都市計画道路の用地買収の中断など新設の都市計画道路事業ははかどっていないが、交差点改良(右折レーン設置等)は渋滞箇所対策として非常に有効な手段となっている。また、本市は、市内を横断する国道・県道が多いため、国・県等と共同して市内の渋滞箇所の解消に努めていく必要がある。

コード 配下事務事業名
 140601 都市計画道路交差点改良事業

【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 事業拡大
 上矢切交差点の改良をH22年度に完了し、渋滞箇所を減少させる。(第3次実施計画に計上済み)

【今後の課題】
 本市は、市内を横断する国道・県道が多いため、国・県等と共同して市内の渋滞箇所の解消に努めていく必要がある。

【重要性】
 移動手段としての自動車の交通量は増加しており、移動時間の短縮が求められているが、国道6号線や県道に接続する道路での交通渋滞が発生している。交差点(都市計画道路と市道との交差点)での交通渋滞を緩和するためには、交差点改良(右折レーン設置等)が有効な手段となっている。

【現状分析】
 H17・H18・H19年度において交差点改良事業完了なし。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
渋滞箇所数			27	27	26	26	26
(箇所)			26	26	26	26	26
			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1406 渋滞箇所をなくす
 【事務事業】 140601 都市計画道路交差点改良事業

【施策】 3 車の流れを良くする
 担当課: 5032000
 道づくり課

会計区分 一般会計 計画区分 計画事業 502 戦略区分 改善

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
交差点(都市計画道路と市道との交差)での交通渋滞を緩和するために、交差点改良(右折レーン設置等)を実施する。	用地取得進捗状況(%)	当該年度取得面積/事業用地取得面積全体681.3㎡	0	0	0	7	7	計画額	0	0	13,545	73,418	225,970
			0	0	0	7	56	(一般財源)	0	0	13,545	40,918	118,016
	工事進捗状況(%)	当該年度施工距離/工事総延長167m	0	0	0	0	0	予算額	0	0	7,000	72,981	229,849
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	7,000	25,531	121,349
	()		0	0	0	0	0	決算額	0	0	2,625	120,029	275,405
			0	0	0	0	0	職員数	1.6	1.9	2.2	3.4	3.4
【対象】 道路利用者								【業務】 交差点改良業務(三矢小台地先) 単位) 事業費: 千円 職員数: 人					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

主1-25号交差点改良事業H17年度より事業着手。H18年度より国の事業承認を受け国庫補助事業(臨交)として事業着手。(H18~H22)H18・19年度は用地確保に努めた。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

H22年度事業完了を目指し事業を進捗させる。第3次実施計画に計上済み。

【計画事業】

【計画事業名】 道路改良及び舗装事業(交差点改良)

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 都市基盤の整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画			新規事業として右折レーンの設置と現道の拡幅整備を行い、渋滞解消を図るため、事業着手する。初年度は用地測量を行う。	事業認可を受け、用地買収及び物件補償を行う。事業承認期間平成18年度~22年度、L=167m、W=16m	平成18年度に引き続き用地買収及び物件補償を行う。
実績			用地測量設計委託	用地買収46.39㎡	用地買収385.08㎡

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	3 車の流れを良くする	【項】	都市基盤の整備
【基本事務事業】	1407 経済活動拠点へのアクセスをよくする	【基本計画区分】	502【担当課】 5022100 都市整備課・市街地整備

【目的】	道路密度 について 実績値 2.39km/km ² (H13)を 目標値 2.45km/km ² にする。	【背景】	増加する駅周辺の自動車交通量に対し、駐車場需要に合わせた民間駐車場の整備を促進することにより違法駐車などを排除し、交通渋滞をなくし商業地域へスムーズに到着できるようにする。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
		【今後の課題】	車から公共交通へと交通手段を変えることが望まれるので、公共交通が利用しやすい環境づくりが必要となる。	140701	駐車場整備事業	松戸駅周辺の商業地域への自動車での乗り入れ計画目標値は、ほぼ達成した。最近のガンリンの高騰により商業地域への自動車の乗り入れは減少し公共交通へと交通手段を変えているものと推測する。
				140702	駐車場事業特別会計繰出金	
				140703	西口駐車場運営事業	
				140704	駐車場債償還元金	
				140705	駐車場債償還元利子	
				140706	予備費	
				140707	一般会計繰出金	

【重要性】
駅周辺の商業地域は慢性的に駐車場不足であり、違法駐車した車が交通の妨げとなっている。

【現状分析】
商業地域への車の乗り入れ計画目標値は、ほぼ達成した

【指標】	上段:予算目標	下段:実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
駐車場供給台数			2700	2700	2700	2700	2700
(台)			2491	2456	2456	2402	2727
			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

【政策】	14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【施策】	3 車の流れを良くする
【基本事務事業】	1407 経済活動拠点へのアクセスをよくする	担当課:	5022100
【事務事業】	140701 駐車場整備事業	都市整備課・市街地整備担当	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -

【目的】	都心部への自動車交通の集中と増大する駐車需要に対処するため、民間駐車場の整備を促進する。	【指標】	駐車場供給台数(台)	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
		()			2700	2700	2700	2700	2700	計画額	9,599	9,599	0	0	0
					2491	2456	2456	2402	2727	(一般財源)	9,599	9,599	0	0	0
					0	0	0	0	0	予算額	9,599	9,599	9,916	0	0
					0	0	0	0	0	(一般財源)	9,599	9,599	9,916	0	0
					0	0	0	0	0	決算額	9,599	9,349	0	0	0
										職員数	0.8	1.15	0.75	0.75	0.75
										単位) 事業費:千円 職員数:人					
【対象】	市民及び来訪者	()			0	0	0	0	0	【業務】	駐車場法関連指導業務 駐車場整備計画更新業務 民間駐車場建設費補助金				
					0	0	0	0	0						

【指標値】上段:予算目標 下段:実績

【定量分析】:課題・現状分析
商業、都心部への自動車交通の集中と増大する駐車需要の補充

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性
松戸駅周辺の駐車場供給台数は達成できた。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	14	誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【施策】	3	車の流れを良くする								
【基本事務事業】	1407	経済活動拠点へのアクセスをよくする	担当課:	5011000									
【事務事業】	140702	駐車場事業特別会計繰出金	都市整備本部企画管理室	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
					502								
					戦略区分								
					—								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
一般会計から駐車場事業特別会計に対し繰出しを実施することにより、駐車場事業会計の負担を軽減し、健全経営の維持を目的とする。	(0)		0	0	0	0	0	計画額	71,000	16,719	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	71,000	16,719	0	0	0
			0	0	0	0	0	予算額	71,000	16,719	0	0	0
	(0)		0	0	0	0	0	(一般財源)	71,000	16,719	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	71,000	16,719	0	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	0
								単位) 事業費：千円		職員数：人			
【対象】								【業務】					
駐車場事業特別会計	(0)		0	0	0	0	0						
			0	0	0	0	0						
								【指標値】	上段: 予算目標	下段: 実績			
								【定量分析】: 課題・現状分析					
								一般会計から駐車場事業特別会計へ平成16年度まで繰出しを実施し、駐車場事業特別会計の健全経営に寄与したことにより、平成17年度で公債費の償還が完了し、収支が黒字となった。『評価対象外』					
								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
								駐車場事業特別会計の収支状況により黒字経営が見込まれるため、平成17年度からは一般会計から駐車場事業特別会計への繰出しは実施しない。『評価対象外』					

【政策】	14	誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【施策】	3	車の流れを良くする								
【基本事務事業】	1407	経済活動拠点へのアクセスをよくする	担当課:	5022100									
【事務事業】	140703	西口駐車場運営事業	都市整備課・市街地整備担当	会計区分	駐車場事								
				計画区分	一般事業								
					501								
					戦略区分								
					—								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
松戸駅周辺の駐車場需要に対処するため	修正回転率(時間)	1日の総駐車時間数/138台	5.88	6.08	6.4	6.4	6.4	計画額	49,065	49,210	51,000	65,000	65,000
			6.64	6.69	6.17	6.18	5.37	(一般財源)	49,065	49,210	51,000	65,000	65,000
								予算額	49,065	49,210	58,144	61,943	65,181
	違法駐車数(%)	現年/前年	130	90	90	90	90	(一般財源)	49,065	49,210	58,144	61,943	65,181
			30	31	29	22	25	決算額	43,563	43,444	42,872	45,243	50,764
								職員数	1	1	1.3	1.3	1.3
								単位) 事業費：千円		職員数：人			
【対象】								【業務】					
駐車場利用者	(0)		0	0	0	0	0	施設維持管理業務					
			0	0	0	0	0	管理委託業務					
								施設整備業務					
								【指標値】	上段: 予算目標	下段: 実績			
								【定量分析】: 課題・現状分析					
								本施設も開業以来22年が経過し、施設及び機械に老朽化が見られ、平成17年度に改修診断を実施。その結果を受けて、平成18年度より10年間計画で改修を実施し、今後20年間施設を稼働できるようにする。					
								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
								平成22年12月に施設の事業期間の満了により、利用料金・利用時間等の見直しに合わせ条例改正が必要。また、過去5年間の事業収入を比較しても年々減少しているため収益金から捻出している大規模修繕や一般会計への繰出金にも影響するため財源確保が急務。					

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	4 公共交通を利用しやすくする	【項】	都市基盤の整備
【基本事務事業】	1409 輸送力を増強する	【基本計画区分】	502【担当課】 5021100 都市計画課・交通計画担

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
混雑率について 快速は(実績値 205%(H12)を目標値 180%)に、緩行線は(実績値 209%(H12)を目標値 180%)とする。	JR常磐線の通勤・通学による混雑は依然として厳しい状況であり、多くの駅がバリアフリー化されていないことや鉄道交差駅において同一駅舎となっていないなどの乗り換えの不便さもある。バス路線については一部で利用者の減少により廃止された路線もある。	140901	鉄道輸送力増強要請事業	削減された運行本数はわずかであり、利便性が低下したとまでは言えず、首都圏の他の鉄道と比べても利便性は高い状況にあるが、同じ課題を持つ他の自治体と一丸となって引き続き要請を継続する。
		140902	バス利用活性化事業	
		140903	地下鉄11号線延伸促進事業	

【重要性】	【今後の課題】
鉄道の混雑や乗換えの不便さを解消し、安全で快適な誰もが利用しやすい公共交通を確保し、市民生活の向上を図ることが重要と考える。	鉄道の1列車当たりの混雑率を下げることや、駅を中心とした施設のバリアフリー化や駅前広場の整備により鉄道以外の交通手段から鉄道への乗換えをしやすくすることが必要となっている。また、自動車等の交通手段を持たない高齢者等の利用を考えたバス交通の充実が望まれている。

【現状分析】	【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
JR常磐線は、つくばEXの開業により、混雑率緩和が期待されたが、旅客の流出と同時にピーク時の常磐線の運行本数が削減されてしまったことで、混雑率は若干の改善を示したが依然として高い水準にある。	輸送力	(人)		75211	75409	75606	75803	76000
				75280	75640	76560	74340	71620
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0

【政策】	14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする	【施策】	4 公共交通を利用しやすくする
【基本事務事業】	1409 輸送力を増強する	担当課:	5021100
【事務事業】	140901 鉄道輸送力増強要請事業	都市計画課・交通計画担当室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
市内鉄道の利便性向上を図る。	JR常磐線快速線混雑率(%)	JR発表資料による理由:輸送力増強の効果として、最も捉えやすい指標であるため状況:鉄道事業者がダイヤ改正、新型車両投入により輸送力増強に力を注いでいる	190	180	180	180	180	計画額	258	16,366	63,252	217,215	216,333
	()		190	185	169	177	0	(一般財源)	258	9,807	40,750	138,215	133,765
	()		0	0	0	0	0	予算額	258	16,366	60,527	141,129	247,614
	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	258	9,807	38,871	90,163	149,375
	()		0	0	0	0	0	決算額	10,258	16,366	38,233	120,842	191,494
	()		0	0	0	0	0	職員数	1.4	1.25	1.5	1.5	1.3
【対象】	鉄道を利用する市民		0	0	0	0	0	【業務】	各種期成同盟負担金 新駅設置要請業務 成田高速鉄道アクセス株式会社出資金 成田高速鉄道アクセス株式会社補助金				
			0	0	0	0	0						

【定量分析】:課題・現状分析	【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性
[各種期成同盟] 常磐線輸送力整備・新線建設促進期成同盟他で、国土交通省・JR東日本・東京メトロ・県選出国會議員等に輸送力改善の要望を実施しました。[NRA 出資金・補助金]成田新高速鉄道出資金 (H15~H19) 120,000千円 成田新高速鉄道補助金 (H16~) 318,628千円 を支払済みとなっています。	[各種期成同盟] 既設路線の輸送力向上に向け、同様な課題を持つ他の自治体と一丸となった要請活動を継続する。[NRA 出資金・補助金]成田新高速鉄道建設は、H22年度開業を目指し、H21年度までの債務負担行為を設定し、補助金を支出しています。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1409 輸送力を増強する
 【事務事業】 140902 バス利用活性化事業

【施策】 4 公共交通を利用しやすくする
 担当課: 5021100

都市計画課・交通計画担当室 会計区分 一般会計 計画区分 計画事業 502 戦略区分 ー

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
移動制約者を含む全てのバス利用者の利便性向上を図り、バス交通利用を促進する。	バス利用増減率(%)	当年度バス利用者数/H15年度バス利用者数 理由:自転車、自家用車等の個別的移動手段 利 用者をバス利用に誘導するため状況:バス利用 者は年々減少傾向にあり、コミュニティバス運 行等の対策をとる。自治体も出ている	100	102	103	104	105	計画額	8,100	4,400	4,400	4,400	4,400
			100	99	98	100	100	(一般財源)	8,100	4,400	4,400	4,400	4,400
			0	0	0	0	0	予算額	8,100	4,400	4,400	4,400	4,400
			0	0	0	0	0	(一般財源)	8,100	4,400	4,400	4,400	4,400
			0	0	0	0	0	決算額	5,622	3,390	3,930	3,233	3,233
							職員数	2.5	2	2.6	1	1.1	
							単位) 事業費:千円 職員数:人						
【対象】 バス利用者			0	0	0	0	0	【業務】	ノンステップバス導入補助金 利用促進業務				
			0	0	0	0	0						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

バス事業者のノンステップバス導入を支援しました。H15 京成: 中型1台・新京成: 中型2台 H16 新京成: 中型2台H17 新
 京成: 中型2台 H18 新京成: 大型2台H19 新京成: 大型2台移動円滑化の促進に関する基本方針に示された導入率
 30%を目標としていますが、大型バスにおける導入率としてみれば、目標の3

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

バス利用者は年々減少傾向にあったが、平成18年度より上昇に転じ、平成19年度には、基準年
 である15年を若干上回るまでに回復を示しました。

【計画事業】

【計画事業名】 バス利用活性化事業

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 都市基盤の整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	ノンステップバス導入支援バス車両 更新要請事業バス事業者連絡会業 務関係機関との協議・調整	ノンステップバス導入支援バス車両 更新要請事業バス事業者連絡会業 務関係機関との協議・調整	ノンステップバス導入支援バス車両 更新要請事業バス事業者連絡会業 務関係機関との協議・調整	ノンステップバス導入支援バス車両 更新要請事業バス事業者連絡会業 務関係機関との協議・調整	ノンステップバス導入支援バス車両 更新要請事業バス事業者連絡会業 務関係機関との協議・調整
実績	ノンステップバス導入支援バス車両 更新要請バス事業者連絡会業務 関係機関との協議・調整	ノンステップバス導入支援バス車両 更新要請バス事業者連絡会業務 関係機関との協議・調整	ノンステップバス導入支援バス車両 更新要請バス事業者連絡会業務 関係機関との協議・調整	ノンステップバス導入支援バス事業 者連絡会業務関係機関との協議・調 整	ノンステップバス導入支援バス事業 者連絡会業務関係機関との協議・調 整

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1409 輸送力を増強する
 【事務事業】 140903 地下鉄11号線延伸促進事業

【施策】 4 公共交通を利用しやすくする
 担当課: 5021100
 都市計画課・交通計画担当室 会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 502 戦略区分 ー

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
地下鉄11号線の建設を促進し、市民の利便性の増大をはかり、以って地域の発展を期する。	事業化率(%)	工事着手が可能となった区間／押上～松戸区間 状況:これまで帝都高速度交通営団による整備・運行を前提として要請活動を行ってきたが、同営団の民営化により、地下鉄8・11号線の実現に向けた新たな対応が求められている。	100	100	100	100	100	計画額	5,659	2,652	1,632	1,571	1,558
			0	0	0	0	0	(一般財源)	5,659	2,652	1,632	1,571	1,558
			0	0	0	0	0	予算額	5,659	2,652	1,632	1,558	1,558
			0	0	0	0	0	(一般財源)	5,659	2,652	1,632	1,558	1,558
			0	0	0	0	0	決算額	5,633	1,620	1,553	1,554	1,558
()			0	0	0	0	職員数	1	1	0.2	0.2	0.4	
							単位) 事業費：千円 職員数：人						
【対象】 通勤・通学者を含む市民	()		0	0	0	0	0	【業務】					
			0	0	0	0	0						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

8・11号線促進連絡協議会で調査研究を行いました。H14・H15 ①上下分離方式を前提とした事業成り立ちの検討H16
 ①地下鉄関連事業の整理 ②資金調達方策の検討H17 ①段階的整備を前提とした課題の整理 ②資金調達方策の検討H18 ①需要予測の検討 ②収支予測の検討H19 ①検討委員会を設置し、段階的整備による、事業化の検討

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

課題: 事業主体・事業化手法について調査検討段階である。方向性: 早期に延伸実現を図るため、事業主体・事業化手法・資金フレーム等を検討する。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【施策】 4 公共交通を利用しやすくする
 【基本事務事業】 1410 乗換えを円滑にする

【節】 安全で快適な生活環境の実現
 【項】 安全で安心な地域環境づくり
 【基本計画区分】 404【担当課】 3923100 生活安全課・自転車対策

【目的】 安全に通行できるようにする。
 【背景】 駅周辺に放置自転車が多く発生。歩行者の安全を妨げている。

コード 配下事務事業名

141001 自転車駐車場管理運営事業
 141002 放置自転車対策事業

【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
 自転車駐車場の利用率の向上及び放置自転車の削減を図る

【今後の課題】
 マナーの向上、駐輪場の数的確保、利用しやすい交通動線の確保

【重要性】
 交通事故を防止し、社会的弱者にも安全な通行を確保する必要がある。

【現状分析】
 地道な撤去活動の成果として年々放置台数が減少している。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
放置自転車撤去件数			33000	31000	30000	29000	28000
(件)			26447	25904	26021	18827	16922
			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1410 乗換えを円滑にする
 【事務事業】 141001 自転車駐車場管理運営事業

【施策】 4 公共交通を利用しやすくする
 担当課: 3923100
 生活安全課・自転車対策担当 会計区分 一般会計 計画区分 計画事業 404 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
駐輪場の利用者を適正に管理するため施設を再整備し、利用率と利便性の向上を図る。	利用率(%)	自転車利用台数/収容可能台数	75	75	80	80	80	計画額	444,161	436,699	427,508	438,123	437,686
			75	75	77	77	79	(一般財源)	-31,643	-26,157	-36,191	-2,733	2,092
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	444,161	436,699	428,931	437,941	435,265
			0	0	0	0	0	(一般財源)	-31,643	-26,157	-2,785	2,347	1,899
(0)		0	0	0	0	0	決算額	423,839	430,377	435,277	437,629	433,276	
		0	0	0	0	0	職員数	2.7	2.7	2.7	2.72	2.72	
【対象】								【業務】 自転車駐車場管理委託業務 自転車駐車場維持管理業務 自転車駐車場整備業務					
松戸市自転車駐車場利用者(通勤・通学者を含む)			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績										

【定量分析】: 課題・現状分析

自転車駐車場の適正な管理、運営をはかることにより、駅周辺の自転車の放置を防止するとともに、自転車駐車場内に防犯カメラを設置して犯罪の抑制を図った。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

駐車場料金の改定を行い、駅から200m以上の駐輪場の料金を引き下げ、利用率の向上を図った。また、利用率の低い駐輪場は廃止した。

【計画事業】

【計画事業名】 自転車駐車場事業

【節項コード】 404 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	自転車駐車場利用率を75%にする。	自転車駐車場利用率を75%にする。	自転車駐車場利用率を80%にする。	自転車駐車場利用率を80%にする。	自転車駐車場利用率を80%にする。
実績	0.75	0.75	0.77	0.77	0.79

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 14 誰もが安心してスムーズに動くことができるようにする
 【基本事務事業】 1410 乗換えを円滑にする
 【事務事業】 141002 放置自転車対策事業

【施策】 4 公共交通を利用しやすくする
 担当課: 3923100
 生活安全課・自転車対策担当 会計区分 一般会計 計画区分 計画事業 404 戦略区分 ー

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
自転車利用者に対し、利用にあたっての責任と義務を求め、一方、駅周辺を自転車の放置禁止区域に指定し、放置自転車の規制を図る。	放置自転車台数(台)	放置禁止区域内の放置自転車台数	33000	31000	30000	29000	28000	計画額	128,819	121,535	111,508	108,435	106,919
			26447	25904	26021	18827	16922	(一般財源)	95,511	89,417	79,885	70,192	64,324
								予算額	128,819	121,535	108,435	106,919	106,635
	(0)		0	0	0	0	0	(一般財源)	95,511	89,417	70,192	64,324	64,040
			0	0	0	0	0	決算額	123,228	122,162	103,382	102,585	102,293
								職員数	9.8	7.7	7.7	7.48	7.48
								単位) 事業費：千円 職員数：人					
	(0)		0	0	0	0	0	【業務】	放置自転車防止啓発業務				
			0	0	0	0	0		放置自転車撤去業務				
									保管所管理運営業務				

【指標値】上段：予算目標 下段：実績

【定量分析】:課題・現状分析

円滑な道路交通と市民生活の安全を確保するため、放置自動車の防止指導や啓発、撤去、移送を行った。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性

午前中の放置は減少したものの、午後及び土日の放置が多い。

【計画事業】

【計画事業名】 放置自転車対策事業

【節項コード】 404 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	放置禁止区域内の放置自転車台数を減少させる。	放置禁止区域内の放置自転車台数を減少させる。	放置禁止区域内の放置自転車台数を減少させる。	放置禁止区域内の放置自転車台数を減少させる。	放置禁止区域内の放置自転車台数を減少させる。
実績	26,447台	25,904台	26,021台	18,827台	16,992台